

未来に向かって進め
みまたんキッズ

歴史から学び未来へ

～みまた⑤たからもの～

まちの歴史を学び、それを学校生活に生かしている子どもたちと、
子どもたちを陰で支えている地域の人たちを紹介します。

マイナンバーの通知カードは届きましたか？…6 平成27年度 三股町表彰式…8
第25回三股町ふるさとまつり…10 まちの話題…12

花と緑と水のまち
宮崎県 三股町

MIMATA PublicRelations 12 Vol.544



広報みまた 平成27年12月1日号

発行・編集：三股町 企画政策課
TEL：0986(52)1114 FAX：0986(52)4944
〒889-1995 宮崎県北諸県郡三股町五本松1-1



天国か…

どうなってるの？



地獄か？

人形劇団 むすび座

The Wish List

ウィッシュリスト 原作／「ウィッシュリスト 願い、かなえます」
オーエン・コルファー
種田 繁／訳（理論社刊）

- 日時／12月4日[金]
午後7時00分開演（開場は30分前）
- 料金／一般…1,500円（当日同料金） 大学生以下…800円（当日同料金）
ベア…2,500円（前売のみ）
※全席自由 ※未就学児入場不可（無料託児サービス実施。申込先＝三股町立文化会館） ※対象年齢小学生高学年以上
※電話予約可 ※WEB予約可（三股町立文化会館WEBサイト）
※大学生以下＝入場の際「学生証」の提示をお願いすることがあります
- 出演／人形劇団むすび座
- 主催／三股町・三股町教育委員会 ■共催／みやこのじょう子ども劇場

てぶくろを 買いに

原作/新美南吉

- 日時／12月10日[木]
午後6時40分開演（開場は20分前）
- 料金／一般…1,500円（当日同料金） 4歳～大学生…800円（当日同料金）
※全席自由 ※電話予約可 ※3歳以下入場無料（整理券配布）
※WEB予約可（三股町立文化会館WEBサイト）
※大学生以下＝入場の際「学生証」の提示をお願いすることがあります
- 出演／人形劇団ブーク ■主催／三股町・三股町教育委員会 ■共催／みやこのじょう子ども劇場



★ 同時上演 ★



人形音楽バラエティー
くるみ割り人形
チャイコフスキー原曲による

0歳から楽しめるファミリーコンサート

小さな音楽会の パパとママといっしょに

おいで おいで X'mas X'mas コンサート

ママのおひざでうたうたは、きっと心に残るはず。
いっしょにうたって遊びましょ。

- 日時／12月23日[水・祝日]
午後2時00分開演（開場は開演の30分前）
- 料金／一般（0歳から一律）…500円（当日600円）
ファミリーチケット（3人まで）…1,000円（当日1,300円）
ファミリーチケット（5人まで）…1,500円（当日2,000円）
※ファミリーチケットは家族以外の組み合わせ（大人同士や子ども同士、他のご家族と合同）でも構いません
※全席自由 ※電話予約可 ※WEB予約可（三股町立文化会館WEBサイト）
- 内容／みんなであう！ X'mas song、うたうたうたうた、見て聴いて！、
絵本、ミュージックシアター、あそびうたなど、いろんな音楽をたのしもう！
- 出演／「小さな音楽会」川崎圭子（うた）・横山桂子（ピアノ・フルード・キーボード）・福永那津子（ピアノ）・愛川義夫（クラシックギター）
[賛助出演] 豊国淳子（ウッドベース）・土之園謙治（ドラム・パーカッション）



三股町立文化会館自主文化事業

●お問い合わせ・電話予約・WEB予約・チケット販売【月曜を除く午前9時～午後5時】
三股町立文化会館（Tel.0986-51-3462 <http://www.town.mimata.lg.jp/bunka/>）
●各公演とも前売にて完売の場合「当日券」は販売しないことがあります。



歴史から学び 未来へ

「みまた」だからもの

文教みまたフェスティバル を開催

10月17日、町立文化会館で、町教育委員会主催による「文教みまたフェスティバル」が開催されました。これは、家庭・学校・地域が協力し、心豊かでたくましく生きる「みまたん子」を育てる環境づくりを目的としています。町教委は昨年7月1日に、10月の第3土曜日を「三股町教育の日」と制定し、同フェスティバルは今年で2回目の開催です。この日は、児童による演劇、各小学校の代表児童やPTAによる実践事例や意見作文の発表、国内外派遣事業の成果報告などが行われました。

まちの宝物ってなんだろう

オープニングを飾ったのは、三股西小学校4年4組の子どもたちによる演劇「みまたん たからもの」。子どもたちは演劇の中で、三股町のすてきなところを挙げていきます。そして、これまでの歴史が「まちの今」を築いていることに気付き、「三股の宝物は人」。そして、自分たちを含め、このまちにいる人たち一人一人もまた、宝物の一つであるという答えにたどり着きました。今回は、まちの歴史を学び、それを学校生活に生かしている子どもたちと、子どもたちを陰で支えている地域の人たちを紹介します。

今も生きる、先人たちの思い

江戸時代から、鹿児島藩では、地域の中で先輩が後輩を指導する郷中教育が振興されていたといわれ、その文化が根強く残る本町は「文教のまち」と呼ばれています。平成22年には、インターネットを使って町内の小中学校をつなぎ、子どもたちだけで話し合いを行う「文教みまた子どもサミット」を開催。この中で「三股町児童生徒憲章」を定めました。これは、全小中学校での活動に生かされ、あいさつ運動や無言清掃、黙想・座礼などが行われています。このまちの発展を願い、人材の育成に力を注いだ先人たちの思いは、今の子どもたちにも脈々と受け継がれ、学校での活動に生かされているのです。

受け継がれる伝統教育

同フェスティバルでは、梶山小学校6年の中村莉奈さん、柳田なつ美さん、假屋雪羽さんが活動事例を発表。梶山小では、児童生徒憲章を基に話し合い、本年度は無言清掃を重点目標として取り組んでいます。まず、学年の異なる縦割りで班を編成し、上級生が下級生の手助けをします。清掃開始で全員が黙想し、心を落ち着かせてから無言で清掃に取り組みます。机などを運ぶときは、上級生が下級生をサポート。最後は、上級生が班長となって反省会を行い、毎月の「清掃頑張り週間」のときには反省カードの記入も行います。こうした取り組みを児童が自主的に行うのも、このまちに郷中教育の文化があったからこそなのかもしれません。

歴史から学ぶ子どもたち

三股町児童生徒憲章

- わたしたちは「文教みまた」の児童生徒として次のことを守ります。
- 一 出会った人には気持ちのよいあいさつをします
 - 一 登校・下校のときは校門できちんと礼をします
 - 一 授業の始まりには黙想・座礼をします
 - 一 無言清掃で学校をきれいにします
 - 一 郷土「みまた」に関する学習をします
 - 一 「みまたの日」には、これらのことを振り返ります



清掃後の反省会



無言清掃



梶山小の事例発表

みまたワンポイント

本町はかつて、勝岡郷と梶山郷という二つの郷に分かれていましたが、明治3年に合併して「下三保郷」と呼び名が変わり、その地頭となったのが三島通庸でした。三島は、まちの中心を山王原に定め、当時としては珍しいほど大きな道路を縦横に通して道路整備を行いました。さらに郷内各地から70戸の士族を移住させ、大集落を作り上げました。そしてそこに学校を建設し、教師を鹿児島から招いて教育を推進しました。こうした政策は、のちに三島が東北地方で県令となった時にも一貫して行っていることを考えると、三股はその出発点であったといえるかもしれません。そしてそれは現在も脈々と受け継がれ、「文教のまち 三股」の気風を形成してきたといえます。



※写真提供：都城市立庄内小学校

三股開拓の祖「三島通庸」
(1805～1888)

※県令…廃藩置県が行われたあとの県の長官の名称。現在の県知事にあたる。

演劇「みまたん たからもの」



地域の歴史を知ってほしい
本町には、歴史や文化を掘り起こし、まちの未来に継承しようと、日々研究を続ける「三股郷土史研究会（比江嶋哲二会長、18人）」の人たちがいます。同会は、昭和57年に発足。以来、史跡を巡り、資料やまちの人たちの

体験談などを集め、「ふるさとみまた」を毎年1冊ずつ刊行。今年で第33号の発行を迎えました。同会では、歴史的な史実だけでなく、一般庶民の暮らしまで研究し、資料として後世に伝えようとしています。「まちの地形、地名や用水路まで、現在の姿に至るには全て理由があり、それを学んだうえで新しいまちを築いていかなければならない」と、比江嶋会長は話します。そして、有識者だけでなく、私たちみんながまちの歴史を知ること、新しいまちの未来が築けるのだと訴えます。

未来のために私たちができること

歴史を掘り起こし、未来に残す意味



こうして、学校と保護者と地域が協力し合って、子どもたちの成長を支える姿からは、子どもたちを「地域の宝物」と考え、まちの未来を大切に思う思いが伝わってきます。



子どもたちを支える地域の関わり

子どもたちの成長を見守り、支える組織として、教職員と保護者で組織する「PTA」があります。そして、もう1つ欠かせないのが「地域の人たちの関わり」です。農業者は、食の大切さを教えるために田植えや稲刈りなどの体験の場を提供し、高齢者は、交通安全を願う「みまもりたい」として登下校の子どもたちを見守ります。ほかにも、子どもたちの心の成長を願って読み聞かせを行う人たちや、昔の遊びを教えてくれる人たちもいます。また、地域の伝統を継承しようと、各地区の郷土芸能保存会が、学校や地域で伝承活動を行っています。



未来に続く幸せの連鎖

長田小PTA 児玉たえ子さん

町は、昭和3年の三股村時代に『三股史』を、昭和36年に『三股町史』を刊行。そして昭和60年に『三股町史改訂版』を刊行しましたが、これを最後に、約30年の月日が流れました。この間、町をとりまく環境は大きく変化し、伝統的な風習や伝承も少しずつ風化しつつあります。そこで町は、郷土史研究会の一部のメンバーや都城市の学芸員などの協力のもと、平成26年度に三股町史編さん委員会を設置。改訂版刊行後の現代史と、新たに得られた歴史的知見を後世へと伝承する新しい町史の編さん事業に着手しました。本事業は町制施行70周年を迎える平成30年度の完成を目標とし、現在も作業を進めています。

町史編さん委員会を設置

私たちの「今」も歴史の一部

まちの歴史を学び、学校生活に生かす子どもたち。そして、子どもたちの笑顔と、まちの未来のために活動を続ける大人たち。一人一人の活動は、すぐに大きな結果が出るものではないかもしれませんが、小さな取り組みが積み重なっていくことで、子どもたちは少しずつ健やかに育ち、地域には人のつながりが芽生えていきます。そうして築いた何気ない日常が、いずれはまちの歴史となっていく、私たちの今を記録した写真や日記でさえも、数十年後には歴史を証明する資料となります。先人たちの思いを受け継ぎ、子どもたちの笑顔がふれるまちの未来をつくっていくために、まちの歴史を学び、未来に伝えていきましょう。



地域の歴史は、その時代の災害時の対応や、発展してきた経緯など、まちの今後を判断するための重要なデータとなります。最近では、個人でも自分の原点を探るための家系図を作る人が増えています。歴史的資料や建造物は、一度失うと元には戻せません。ですから私たちには、歴史を掘り起こし、過去を明らかにするための資料を未来に伝える責任があると思います。

平成27年度三股町表彰式

功績を たたえて

町は11月3日、平成27年度三股町表彰式を町立文化会館で開催し、12人と3団体を表彰しました。これは、町政の振興や町民福祉の増進、文化の発展向上などに功績のあった個人、団体を顕彰するもので、毎年文化の日に表彰式典を行っています。なお受賞者の皆さんとその功績は次のとおりです（敬称略）。



行政特別功労賞
山元 秋夫



平成8年12月から平成27年1月までの18年1カ月間（うち5年2カ月間は選挙管理委員長にわたり、選挙管理委員として、公明かつ適正な選挙執行に貢献しました）。

功労賞（社会部門）
渡具知惟勝



三原自治公民館長として15年間を務め、地区住民および世帯相互の親睦を図る取り組みを推進し、地域コミュニティの形成に尽力。本町の社会教育の発展に貢献しました。

功労賞（体育部門）
大久保 誠



みやざき県民総合スポーツ祭に於て、陸上男子D（40〜44歳）3000mで2年連続優勝という素晴らしい成績を収めました。

功労賞（体育部門）
上水 あみ



宮崎日大高等学校在籍。第25〜27回（平成24〜26年）県中学校駅伝競走大会において、第4区（20〜24歳）で3年連続区間賞獲得という素晴らしい成績を収めました。

功労賞（行政部門）
大久保義直



町議会議員として4期16年を務め、副議長、議会運営委員会委員長、総務文教常任委員会委員長の任として、町政の発展に貢献しました。

功労賞（芸術部門）
愛甲 進一



平成8年「童謡まつりinみまた」平成12年から文化の祭典童謡まつり部門の創始に実行委員長として携わり、現在までの18年間、部会長として町の音楽の普及・発展に貢献しました。

功労賞（体育部門）
梅ヶ谷 翔



三股中学校出身。第62回（平成26年度）全日本学生剣道選手権大会個人戦優勝、翌年、同大会準優勝という素晴らしい成績を収めました。

功労賞（体育部門）
川崎 実紗



三股中学校在籍。第26回（平成25年）県中学校駅伝競走大会において、第3区（20〜24歳）で、第27回（平成26年）同大会においては第5区（30〜34歳）で区間賞を獲得するという素晴らしい成績を収めました。

功労賞（行政部門）
上西 祐子



町議会議員として3期12年を務め、副議長、一般会計予算常任委員会委員長、総務厚生常任委員会委員長などを歴任。町政の発展、地方自治の発展に貢献しました。

功労賞（芸術部門）
尾山 明子



平成8年から現在までの19年間、町文化協会常任理事として副会長を務め、会の組織づくりや異文化間の交流を促進するなど、町の地域文化の振興、発展に貢献しました。

功労賞（体育部門）
永坂 史羅



都城東高等学校在籍。第33回「全日本テコンドー選手権大会」において、男子一般58kg以下級で優勝という素晴らしい成績を収めました。

善行賞（個人）
渡邊 ヨシ



平成11年から16年以上にわたり、地域高齢者の引きこもり予防、居場所づくりのため高齢者サロンを毎月開催するなど、地域高齢者の生きがいづくり、健康づくりに寄与しました。

功労賞（体育部門・団体）
三股中学校弓道部 女子



平成27年度「第36回九州中学生弓道大会」において、女子団体で優勝という素晴らしい成績を収めました。

功労賞（体育部門・団体）
三股中学校バレーボール部



平成27年度「第48回九州中学校バレーボール競技大会」において優勝という素晴らしい成績を収めました。

善行賞（団体）
勝岡小学校区みまもり隊



発足以来10年間、児童の登下校時に交通安全指導や見守りを行うほか、年4回、巡回パトロールを行うなど地域住民の防犯や交通安全に寄与しました。

平成27年度 三股町社会福祉功労賞等表彰式を開催しました

11月3日、町とさんさんクラブ三股は、町立文化会館で平成27年度三股町社会福祉功労賞等表彰式を開催し、11人と3団体を表彰しました。これは、長年にわたり、地域社会の福祉向上や奉仕活動の進展に貢献のあった個人・団体を顕彰するものです。なお受賞者は次のとおりです（敬称略）。



●社会福祉事業功労者

櫻木恒俊、二見宗保、原村さつき、久松伸寛、上牧ヨリ子

●社会福祉民間奉仕者・団体

はなみずき

●さんさんクラブ三股会長表彰

（永年役員（部）

大田静江、藤木義人、馬渡宏好、松崎政行、野崎三良

（クラブ育成団体の部）

小鷲果若竹会、下新さんさんクラブ

（ねたきり介護の部）

上水久夫

ミマタレジャショーでは町長も参戦!



イチヨウに願いを込めて



今年もピエロが会場の雰囲気を明るくしてくれました



人間早馬競争が3年ぶりに復活!



5万人の熱気あふれた

第25回

三股町 ふるさとまつり

「第25回三股町ふるさとまつり」は、11月14・15日の2日間にわたり、ふれあい中央広場を主会場に開かれ、延べ5万人の人出でにぎわいました。

これは、地場産業や文化発展などを目的に、町や商工会、JA都城三股支所、各種民主団体などで構成される「ふるさとまつり実行委員会」が企画したものです。今年は人間早馬競争も3年ぶりに復活し、多彩な催しに、会場は来場者の熱気で終始盛り上がりを見せました。

また、町武道体育館では、同2日間、「第25回三股町文化祭」を開催。個人や団体から出展された書道、絵画や創作物など959点を展示しました。

蓼池郷土芸能保存会



会場全体で「あるさと」を合唱

フェイスペインティング
(国際交流コーナー)



中米ジャンカン馬踊り保存会



大人も熱中したペーゴマ
(伝承遊びコーナー)



優しい明かりをともしたキャンドルアート



サンバカーニバルin三股
(すみれ保育園)



みまだんのりだーGP
(ランニングバイクコーナー)



町消防団ラッパ隊の演奏が華を添えました



門松さおりさん・
門松ひろ子さん姉妹



第25回三股町文化祭
(町武道体育館)



4種類約800食が
振る舞われた
「夜鍋談話」



KIZUNA MARKET
ライブ



勝岡小学校郷土芸能
餅原地区奴踊り



「みまたん絵」会長賞を受賞した三城愛梨さん(三股西小4年)



抽選会で1等の旅行券が2組に当たりました



FG SPLASH(キッズダンスフェスタ)



「みまたんふるさと大使」上原雄三さんと
東富校クッキング部が
100食を振る舞いました



福祉活動への理解深める ボランティアまつり

10月17日、町総合福祉センター「元気の杜」で「第19回みまたボランティアまつり」町ボランティア連絡協議会・町社会福祉協議会主催）が行われました。これは、地域福祉のさらなる向上を図ることを目的に毎年開かれています。この日は、物品販売や創作コーナーのほか、メインステージでの舞踊や「手話うた」などが約800人の来場者を楽しませました。現在、ボランティア連絡協議会の登録は23団体。ボランティアの輪は着実に広まりつつあります。

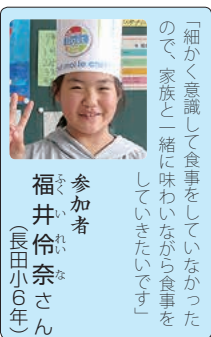


NPO法人
三股福祉作業所
有馬 勇一さん
(今市在住)



五感を使って食を楽しむ 長田小学校で「味覚の授業」

10月20日、長田小学校（岡本佳三校長、21人）で、みよさきの食と農を考える県民会議主催による「味覚の授業」が開催されました。講師は、シェフのヒミ・オカジマさん。舌のどの部分で味を感じたかなどを質問し、児童らはそれぞれに感想を述べて答えました。最後に、食育ティーチャーの河原真友子さんが「宮崎は野菜やお肉、水や空気もおいしいので、自分たちが住む宮崎県で採れた食材を味わって食べてください」と地産地消を訴えました。



参加者
福井 伶奈さん
(長田小6年)



日頃の稽古の成果を披露 芸能発表会

10月25日、町文化協会（田中正吉会長）は、町立文化会館で「第29回芸能発表会」を開催しました。町内で活動する16団体から約140人が出演。舞踊や大正琴など、日頃の稽古の成果を発表しました。次々と披露される多彩な演目に、会場からは大きな歓声と拍手が送られていました。また、同協会発展に貢献した6人（高橋綾子さん、大知シオリさん、山元房枝さん、神宮司祥子さん、福留睦子さん、白井ミツさん）の表彰式も併せて行われました。



今回表彰を受けた皆さん



農業の担い手が宮崎に集結 全国農業担い手サミット

11月10～11日、「全国農業担い手サミットinみやざき」が開催されました。これは、地域農業の発展と担い手の育成を目的として開催されたものです。この日は、全国から農業に意欲のある担い手約1200人が来県。10日には、宮崎市民文化ホールで全体会が行われ、このうち、視察を希望する約40人が、翌日本町を訪れました。一行は、町内の企業や飲食店を視察したあと、町商工会で、どぶろくの製造・販売を行う木下行春さんと、みまたんごまの生産・加工を行う下石正秋さんによるパネルトークに参加しました。全国でも珍しい6次産業化の取り組みを行う2人に、参加者からは熱心な質問が投げ掛けられていました。



（有）福永ファーム 県共進会「優等2席」に輝く

10月20日、（株）ミヤチ高崎工場で第59回宮崎県畜産共進会の第3部「肉牛枝肉の部」と、第4部「肉豚枝肉の部」が行われました。県内各地からえりすぐりの宮崎牛110頭・肉豚168頭が一堂に集結した今大会。本町からは、第3部に（有）福永ファーム・蓼池Ⅱ、（株）福永牧場・蓼池Ⅱ、大盛聖讃さん・中米Ⅱ、馬渡芳文さん・宮村Ⅱが出品。第4部に（有）石坂ファームが出品しました。審査の結果、第3部で（有）福永ファームが見事優等2席を獲得。本町における肥育技術の高さを県内外にアピールすることができました。



受賞した枝肉の断面



勝岡小児童 イタリア人留学生と交流

11月12日に、勝岡小学校体育館で、児童とイタリア人留学生が交流授業を行いました。これは、都城東高校のグローバル教育の一環でイタリアから留学している11人の生徒が、地域の子どもたちと異文化交流を行ったものです。

この日は、5年生の児童と英語で自己紹介をし、イタリア語のじゃんけんゲームなどで交流しました。また、2年生は歌と踊りの披露をしたほか、ドッジボールなどを行い、会場は終始大きな歓声に包まれていました。



参加者
大迫 瞳月さん
(勝岡小5年)



おかげさまで第100回！ みまたんよかもん朝市

10月25日に、町物産館「よかもんや」で、「みまたんよかもん朝市」が開催されました。今回で記念すべき100回目を迎え、多くの来場者が詰め掛けた同会場では、炊きたての町内産新米が振る舞われ、金管ミュージシャンバンド「Horn da M」や「下新日向ひよっとこ同好会」のパフォーマンスがイベントに華を添えました。また、移動式石窯の手作りピザも来場者を驚かせ、限定40枚が瞬く間に完売。他の店舗でも完売が相次ぎ、節目の朝市は大盛況でした。



町物産館よかもんや
スタッフ
森 浩子さん



楽煙貴志さん 県知事表彰を受賞

11月12日、楽煙貴志さんが町役場を訪れ、県精神保健福祉大会での県知事表彰の受賞を報告しました。この大会は、県と県精神保健福祉協議会などが、地域社会の精神保健福祉の向上を目的として毎年開催しているものです。楽煙さんは、町さつき家族会長として精神障害の社会的理解と普及啓発に尽力したほか、NPO法人さつき福祉作業所理事長として障害者の就労支援や相談支援に取り組んだ功績が認められ、これまでで最年少の受賞となりました。



受賞者
楽煙 貴志さん
(下新在住)



ふれあいサロン 「すず虫の会」がオープン

10月25日、傾聴ボランティア「すず虫の会（西田光春代表、5人）」が主催する「しゃべり場」が開設されました。これは、子どもから高齢者まで、地域を問わず誰でも自由に集まって交流するための「みんなの広場」をイメージして開設されたものです。この日は、同会が準備したお茶やお菓子を食べながら、思い思いに会話をしました。



参加者
蔵元 ソエさん
(中米在住)



音楽通じ豊かな心を 小・中学校合同音楽会

11月13日、町立文化会館で「第33回三股町小・中学校合同音楽会」（町教育研究会音楽部会主催）が開催されました。この行事は、音楽を通して豊かな感性を育てることや、他校の児童生徒との交流を深めることなどを目的に、毎年開かれています。この日は、町内全小中学校から約375人が参加し、息の合った合唱や合奏を披露。会場は大きな拍手に包まれました。また、開幕と閉幕では、観客も一緒に全員で合唱し、会場全体が一つになりました。



参加者
上村 泰斗くん
(三股西小4年)

いきいき げんき!

～大人も一緒に「食育」～ ★楽しく・賢く・きちんと食べる★

毎月19日は
食育の日 ●問い合わせ：健康管理センター ☎52-8481

旬の食材は おいしい! 栄養価が高い! 安い! といったこと尽くしです。旬の食材を使った健康バランス食を紹介します。ご家庭での献立にご利用ください。

12月の旬食材…プチヴェール

ビタミン、ミネラルが豊富な緑黄色野菜です。町内でも栽培、販売されています。 ※材料は全て1人分です。

◎主食 ご飯 (100g)

168kcal 塩分0g

◎主菜 ミラノ風カツレツ

388kcal 塩分0.6g

材料 豚ロース薄切り…50g、チーズ…1/2枚(10g)、塩こしょう…少々、●卵…1/4個、●粉チーズ…大さじ1/4、●小麦粉…大さじ1/2、●牛乳…大さじ1/4、パン粉…大さじ2、油…小さじ2、トマトソース、トマト…1/2個、タマネギ…25g、◆レモン汁…小さじ1/2、◆酢…小さじ1、◆塩こしょう…少々、◆オリーブ油…小さじ1

作り方 ①トマトソースを作る。トマトは1cmの角切り、タマネギはみじん切りにして鍋に入れる。中火にかけ煮立ったら火を止め、◆の調味料を入れて混ぜ合わせる。②●の材料をすべて混ぜてパッタ液を作る。③肉を広げ、塩こしょうを軽く振り、チーズを挟みパッタ液、パン粉の順に付ける。④フライパンに油を入れ、揚げ焼きする。⑤皿に盛り、食べる直前にトマトソースを掛ける。

◎副菜 プチヴェールのサラダパフェ

84kcal 塩分0.1g

材料 プチヴェール…30g、水菜…5g、ニンジン…5g、ラディッシュ…5g、

食事バランスガイドとは?

1日に「何を」「どれだけ」食べたらよいかをこの形のイラストで分かりやすく示しています。「何を」とは、主食・副菜・主菜・牛乳乳製品・果物の5つの料理グループ。「どれだけ」とは、1日の目安をそれぞれの料理グループごとに「つ(SV)」という単位で示しています。*「食事バランスガイド」は健康管理センターに置いてあります。

町公式サイトに今月分全レシピを掲載しています。ご参照ください。 町公式サイトアドレス: <http://www.town.mimata.lg.jp/>

外国語指導助手のコーナー

私の最初の3カ月

仕事で三股に住み始めて3カ月。それは私にとって最も印象深く、心躍る経験となっています。仕事と生活はバランスよく繰り返され、毎日楽しく過ごせています。日本の夏は思ったよりも暑く、今過ごしている涼しい季節の方が好きです。私は英語を教えることが楽しいです。子どもも先生も本当に協力的です。子どもたちはとても楽しい性格で、日々喜びを見つけることができます。お昼休みのドッジボールは、とっても人気があります。学校の明るい雰囲気は、仕事ができる幸せを感じさせてくれます。

週末は三股や宮崎をあちこちと探索して、美しい公園や自然を満喫しています。来年春に上米公園の満開の桜を見るのが待ち遠しいです。また、日本は食べ物もおいしく、この辺りには、レストランがたくさんあるので、友人たちとの食事も楽しみの1つです。私は、今も日本語を勉強しています。難しい言葉です。覚えては忘れるの繰り返しでもあります。最後まで読んでくださってありがとうございます。



エマーソン・フィリップ

青年海外協力隊 in ウガンダ共和国 (第2回)

※「Oli otya」は、ルソガ語で「元気ですか」の意味です。



三股町職員 佐々木 義和

ウガンダ東部の任地、マユゲ県に派遣されて1カ月。だんだん任地での生活にも慣れてきました。今回は水事情について少しだけ紹介します。

「アフリカには、井戸しかない」という印象が強いと思いますが、実は水道もあります。ウガンダには国営の水道会社があり、それぞれの県の中心部に水道を通す工事を順次行っています。マユゲ県にも中心部のマユゲタウンに今年2月に水道が通りました。しかし、現状は約3,000人しか利用していません。(マユゲ県人口: 約48万人、マユゲタウン人口: 約1万7千人) マユゲ県全人口の6%です。では、その他の人々はどうして水を手にしているのか。それは今後の自分の活動とともに紹介させていただきます。Weraba(ではまた)!!



タンクに水を引き上げ、各蛇口に水を送るシステム



『野原の麦わら帽子』本番の様子

『温故知新』本番の様子



●国府弘子コンサート

10月7日、ジャズピアニスト・国府弘子による『ピアノ一丁!』を開催しました。毎回さまざまな演奏家と共演するジャズコンサート。今回はゲストに早稲田桜子(ヴァイオリン)を迎えました。演奏曲は、オリジナル、クラシック、ジャズなど。観客からリクエストを聞き即興で演奏する場面もありました。観客は、ピアノとヴァイオリンの音色に聞き入り、秋の夜長に、心地よい音色に酔いしていました。

●演劇で会場が一体に

10月22日、劇団こぶく劇場による『野原の麦わら帽子』を上演しました。三股と門川を拠点に活動する劇団こぶく劇場。今回は、鑑賞教室として県内の小学校などで数多く上演している作品を一般公演として行ったものです。物語は、ある夏休み、少年が山で絵を描いていると、不思議な小学校が現れる…というお話です。途中、観客がこの小学校の生徒として舞台上に参加する場面もあり、観客を巻き込みながらテンポよく繰り広げられる世界に、会場が一体となって舞台を楽しみました。

●和と洋のコンサート

10月30日、「温故知新InnovationⅢ」魂を揺さぶる音」を上演しました。この公演は、石井秀弦(津軽三味線石井流家元)と上之園謙治(ドラムス・パーカッション)によるユニット「温故知新」の毎年恒例のコンサートです。出演は、温故知新の2人と坂田梁山(尺八)、坂田美子(薩摩琵琶)、稲葉美和(箏)、加藤武雄(キーボード)の「管弦楽人」のメンバー。そして、ゲストに津軽民謡を歌う内山みゆきの7人です。演奏曲は、温故知新オリジナル曲、昭和歌謡、九州民謡など。和楽器の深い音色と、洋楽器の軽やかな音色に、のびやかな歌声が加わり、観客は新しい音の世界に引き込まれていました。

●図書館まつりを開催しました

例年、11月下旬に開催している「図書館まつり」。今回は1カ月前に開催となりました。特別展示「図書館員の本棚」は、10月22日から11月13日まで展示。「貸出たいけん」は、10月27日から11月8日まで、小学生以下を対象に行いました。10月31日、エントランスホールで、保存期間を過ぎた「雑誌のリサイクル配布」を行いました。整理券の配布は午前11時から予定されていましたが、開始10分前には約30人の愛読家が列をつくっていました。その後も、好みの雑誌を求めて、約100人が訪れました。

31日午後2時からは、多目的ルームで「子ども映画会」を行いました。「おじゃる丸 満月ロード危機一髪」「ディズニーマネコレクション3」「トムとジェリー①」「ムーミン」を上映。子どもから大人まで、37人が集まり、アニメの世界に入り込み、目を輝かせていました。

■休館日は、21日「くらしのカレンダー」をご確認ください。



雑誌リサイクル配布の様子



講演会の様子



●問い合わせ
三股町立図書館
〒889-1901 三股町大字榑山3406-8
TEL.51-3200 FAX.51-3751

●年 末

【ごみステーションの収集最終日】

- 燃えるごみ＝12月29日（火）
- 燃えないごみ＝12月24日（木）
- 資源ごみ（空き缶・瓶）＝12月17日（木）
- 資源ごみ（白色トレイ・ペットボトル）＝12月10日（木）

※①きちんと分別して②指定ごみ袋に入れて③収集日の午前8時までにごみステーションに出してください。

【個人による搬入】

- 燃えるごみ＝都城市クリーンセンター
12月30日（水）まで
- ・午前8時30分～正午 ・午後1時～4時30分
- ※ごみ処理手数料が掛かります。
- ・家庭ごみ＝50*ごとに250円
- ・事業ごみ＝100*ごとに500円
- 燃えないごみ・資源ごみ（紙類・空き缶・瓶・白色トレイ・ペットボトル）＝町一般廃棄物最終処分場
12月30日（水）まで
- ・午前8時30分～正午 ・午後1時～4時30分
- ※各施設とも年末は特に混雑が予想されます。事前に分別をしっかりと行って、円滑なごみ処理にご協力ください。

※都城市リサイクルプラザでも、再利用できる家具や、使用可能な自転車などの受け入れを行っています。

詳しくはお問い合わせください。 都城市リサイクルプラザ ☎36-3900

【し尿処理】 ■電話受け付け＝12月25日（金）まで ■最終収集日＝12月30日（木）まで ■年始業務開始＝1月4日（月）から
■問い合わせ＝(株)都城北諸地区清掃公社…☎38-0234

年末年始のごみスケジュール

●年 始

【ごみステーションの収集開始日】

- 燃えるごみ＝1月4日（月）から平常どおり
- 燃えないごみ＝1月28日（木）
- 資源ごみ（空き缶・瓶）＝1月21日（木）
- 資源ごみ（白色トレイ・ペットボトル）＝1月14日（木）

【個人による搬入】

- 燃えるごみ＝都城市クリーンセンター
1月4日（月）から平常どおり
- 燃えないごみ・資源ごみ（紙類・空き缶・瓶・白色トレイ・ペットボトル）＝町一般廃棄物最終処分場
1月4日（月）から平常どおり
- 問い合わせ＝
環境水道課 環境保全係……☎52-9082
都城市クリーンセンター……☎45-6677
一般廃棄物最終処分場 ……☎52-5424

第1回みまた㊦霧島パノラマまらそんボランティアスタッフ募集！



昨年度開催した「チャレンジRUN大会」でも、町内外からたくさんのボランティアの協力で円滑な大会運営ができ、参加者の皆さんに喜ばれました。今大会から、ハーフマラソンの部を新設し、昨年度より多くの参加者が見込まれますので、皆さんのご協力をお願いします。

大会コンセプトに共感し、一緒に大会を盛り上げてくれる人であれば、年齢・性別は問いません。応募は、実行委員会までご連絡ください。説明会および当日の詳細は、追って連絡します。

★大会コンセプト＝本大会を通じて、参加者同士の親睦と融和を図るとともに、友人・親子で走ることができる喜びを共感し、併せて健康維持を図り、明るいまちづくりに寄与することを目的とする。

★申込先＝町教育委員会スポーツ振興係内
第1回みまた㊦霧島パノラマまらそん実行委員会
TEL…52-9312 FAX…52-9724
E-mail…sports@town.mimata.miyazaki.jp

★必要事項＝

- ・電話・FAXの場合
（必須）住所・氏名・年齢（学校名、学年）・性別
（任意）メールアドレス

・メールの場合

件名：まらそんボランティア募集

本文：住所・氏名・年齢（学校名、学年）・性別

★開催日＝平成28年1月24日（日）【雨天決行】

★集合および解散予定時刻 ※活動場所が異なります

・集合／午前6時45分～7時30分

・解散／午後1時ごろ

★集合場所＝町総合文化施設など。※活動場所が異なります

★内容＝ランナー誘導・受付・給水所運営・後片付けなど

★支給品＝軽食・記念品ほか

★募集期間＝12月16日（水）まで

★問い合わせ＝スポーツ振興係 ☎52-9312

平成28年度三股町就学援助希望者の申請を受け付けます

町教育委員会では経済的理由で就学困難な児童生徒の保護者に対して、学用品費や給食費などの援助を行っています。平成28年度申請受け付け内容は次のとおりです。

■援助を受けられる人＝生活保護受給者に準ずる程度に困窮している人

■申込方法＝

・各小・中学校に用意してある申込書に必要事項を記入し、必要書類を添えて、学校に提出してください。

・児童生徒1人につき、1件の申し込みが必要です。

※来年度に小学校入学予定児童は、入学予定の小学校へお申し込みください。

■必要書類＝

平成27年度所得課税証明書（世帯用）または平成26年分源泉徴収票など、同居している人全員の総所得が分かるもの。

※必要に応じてその他の書類を提出していただく場合があります。

■認定審査の方法＝

提出された書類の内容と学校長などの意見を参考にしながら、教育委員会で審査・認定を行います。

■申込締切日＝

各小・中学校にお問い合わせください。

■問い合わせ＝

教育課 学校教育係
☎52-9314

平成28年用宮崎県民手帳を販売します

県民手帳は、県と市町村の各種統計や県内の主な行事などが収録されていて、仕事や日常生活に大変役に立つ手帳です。購入を希望する人は、販売場所でご購入ください。冊数に限りがありますので、早めの購入をお願いします。

■品名＝宮崎県民手帳

■サイズ＝縦15センチ、横9センチ

■金額＝1冊600円（消費税込み）

■販売期間＝平成28年1月29日（金）まで
※土曜・日曜・祝日、および年末年始を除く

※在庫が無くなり次第、販売を終了します

■販売場所＝町役場 案内窓口

※町内セブンイレブン・ファミリーマートでも販売しています。

■問い合わせ＝

企画政策課 地域政策係
☎52-1114

保育園などの入園受付が始まります

入園を希望する人は新規・継続にかかわらず各施設へ早目にお問い合わせください。

新規・継続利用は、次の要領で申し込みしてください。

■申込書配布開始日＝平成28年1月4日（月）

■申込書配布場所＝希望する幼稚園、認定こども園、保育園

※幼稚園などが児童数を把握するために、必要書類の受け取りや提出は、必ず希望する施設で行ってください。

※継続利用の児童は、再度申込書を提出する必要はありません。

■受付期間＝平成28年1月4日（月）から1月25日（月）まで

※上記期間以降も受け付けはできますが、期間内に必要書類を提出した人を優先します。

■必要書類

・新規入園者全員＝支給認定申請書兼入所申込書（児童1人につき1部）

・継続利用者全員＝現況届（児童1人につき1部）

次の人は上の書類とは別に追加書類の提出をお願いします。（1世帯につき1部）

・2号および3号認定を申請する人

新規、継続利用者全員＝就労証明

・平成27年1月2日以降に転入した世帯（新規利用者のみ）＝平成27年度所得課税証明書（両親分）

・一人親の世帯で、新規、継続利用者

全員＝①健康保険証（保護者と児童分）②児童扶養手当証書または母子・父子家庭医療費受給資格者証
その他必要書類について、受付時にお問い合わせする場合があります。

※定員の関係上、第1希望に入園できない場合もあります。

※町外の保育園、認定こども園（2、3号認定）は、新規の入園に制限がありますので、福祉課にご相談ください。

■認定区分＝

【1号認定】満3歳以上で、保育を必要としない児童。幼稚園や認定こども園が利用できます。

【2号認定】満3歳以上で、保育を必要とする児童。保育園や認定こども園が利用できます。

【3号認定】3歳未満で、保育を必要とする児童。保育園・認定こども園などが利用できます。

■問い合わせ＝

福祉課 児童福祉係
☎52-9060

愛のご寄付

平成27年10月1から10月31日まで
社会福祉法人 三股町社会福祉協議会

●忌明寄付（敬称略）

寄 付 者	続柄	故人名	年齢	地区	金額
おおたはらしづこ 大田原志津子	夫	よしみつ 義光	75	今 市	3万円
福田 綱信	姉	ちえみ すみ お	58	上 米	3万円
あしたにひろこ 芦谷 弘子	夫	澄雄 しげる	74	大鷲巢	3万円
つよし 今村 剛	父	繁	81	餅 原	3万円
ふみひろ 中内 文広	父	たつ お 辰雄	87	櫛 田	3万円
まさはる 永山 正春	父	まさずみ 政純	96	上 新	3万円
みちお 政野 信市	母	ナツエ ひとし	89	谷	3万円
さとし 久保美智男	父	準	89	蓼 池	3万円
かねみつ 田代 諭	母	ハル子	87	高 畑	2万円
かみみつ 和田 兼光	妻	ハル子	84	谷	3万円
きよひろ 山下みどり	夫	兼一	54	東 原	20万円
きよ治 北村 清治	母	フミ子	94	蓼 池	3万円
のぶ 今村 信男	妻	ミヨ子	88	餅 原	3万円

●一般寄付

・三股町ボランティア連絡協議会
代表 竹元仁伍 ……26,649円

・三股町商工会青年部 代表 上原洋一
……50,564円

Children 子ども

健康管理センターからのお知らせ

●健康管理センター ☎52-8481

●赤ちゃん相談・健診

■期日＝1月7日(木)

■受付時間＝午後1時～1時30分

■対象者＝

- ・健診＝平成26年12月・平成27年6月、10月生まれの乳児
- ・相談＝平成27年2月、4月、8月生まれの乳児

■持ってくるもの＝母子健康手帳、タオル3枚程度
(おっぱい相談希望者のみ)

※子どもの月齢に応じて医師の診察を行います。おっぱい相談や栄養相談も実施しますので、ご利用ください。

●平成25年3月31日までに、ヒトパピローマウイルスワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種を受けた人のうち、接種後に何らかの症状が生じ、医療機関を受診した人は、接種との関連性が認定されると、医療費・医療手当が支給される場合があります。心当たりがある人は、具体的な請求方法などについて、お問い合わせください。

■問い合わせ先＝

独立行政法人医療品医療機器総合機構

救済制度相談窓口

フリーダイヤル ☎0120-149-931

または ☎03-3506-9411 (有料)

ファミリー・サポート・センターたんぽぽからのお知らせ

●ファミリー・サポート・センターたんぽぽ ☎51-5688

当センターは、ご近所で助け合う子育てを組織化したものです。

“依頼者は信頼・安心して預け、提供者は大切にかわいがって預かってくれる”

そんな、お互いにとって優しさが喜びが響き合うことを大切にしながら活動を行っています。

- ・子育てを手助けしてほしい人⇒おねがい(依頼)会員
- ・子育ての援助をしたい人⇒まかせて(提供)会員

困ったときにすぐ利用できるよう、まずは、会員登録をしましょう。登録は無料です。

また、『まかせて(提供)会員』(子育ての援助をしたい人)を募集しています。

預かる子どもの年齢・時間・援助内容は選ぶことができます。子育て中の人でも、自分の子どもと一緒に遊ばせながら、短時間の援助をすることができます。

なお、子どもが学校、幼稚園などに通っている短時間だけでも援助活動を行うことができます。

●「まかせて(提供)会員の講習会」を実施します。

「まかせて(提供)会員」【子育ての援助をしたい人】の講習会を行います。講習会で基本的な知識を身につけてから援助開始となります。参加希望または詳しく知りたい人は、お問い合わせください。

■日時＝平成28年2月10日(水)

■時間＝午前8時40分～午後4時30分

※受け付けは午前8時30分開始

■場所＝町総合福祉センター「元気の杜」

■内容＝保健師、小児科医、臨床心理士、管理栄養士、保育士による子どもについての講習

子育て支援センターからのお知らせ

●子育て支援センター ☎52-8101

●親子ふれあいコンサート

笑顔を運ぶ音楽団「小さな音楽会」の、生の歌と演奏で楽しい時間を過ごしましょう。

■期日＝12月15日(火)

■時間＝午前10時～11時

■場所＝総合福祉センター「元気の杜」大会議室

●友達つくろう！一緒にあそぼう！

子育てでサークル「いもん子クラブ」と触れ合いましょう。

■期日＝12月17日(木)

■時間＝午前10時～11時

●おはなし会

読み聞かせボランティアグループ「おおきな木」による読み聞かせを行います。

■期日＝1月7日(木)

■時間＝午前10時～11時

●誕生会(12・1月生まれのお友達)

■期日＝1月14日(木)

■時間＝午前10時～11時

■内容＝子育て支援センターでお祝いをします。

General 一般

健康管理センターからのお知らせ

●健康管理センター ☎52-8481

●リズムウォーキング

■期日＝12月21日(月)

■時間＝午前10時～11時

※ストレッチや「歩く」動作を中心とした運動をします。

●ノロウイルスに注意しましょう！

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、一年を通して発生していますが、特に冬季は流行します。ノロウイルスは手指や食品などを介して、口や鼻から感染し、腸内で増殖し、嘔吐、下痢、腹痛などを起こします。

＜ノロウイルスに感染しないために＞

①食事の前やトイレの後などには、必ず手を洗いましょう。

②下痢や吐き気がある人は、食品を扱う作業をしないよう

にしましょう。

③加熱が必要な食品は中までしっかり加熱してから食べましょう。

④調理器具などは、よく洗って清潔にしておきましょう。

＜感染した人が出たときは＞

①発症したらできるだけ早く医療機関を受診するようにしましょう。

②吐物などの始末をするときは、感染防止のためにマスクや手袋をしましょう。

③発症者の吐物や便の中には多量のウイルスが含まれています。ビニール袋に入れて処分しましょう。

④塩素系の漂白剤や消毒剤(漂白剤を0.1%に薄めたもの)で汚れた場所を拭き取りましょう。

⑤汚れた衣類は30分ほど塩素系の漂白剤に浸してから洗濯をしましょう。

⑥症状がなくなっても1週間程度ウイルスが排泄されることがありますので、手洗いはしっかり続けましょう。

福祉課からのお知らせ

●社会福祉係 ☎52-9061

●障がい者スポーツ大会の出場者を募集します

第15回宮崎県障がい者スポーツ大会の出場者を募集します。

■開催期日＝平成28年5月8日(日)

■応募締め切り＝平成28年1月19日(火)

■場所＝県総合運動公園ほか

■大会参加資格＝平成28年4月1日現在、13歳以上で、県内に住み、次の要件を満たす人。

①身体の一部：身体障害者手帳の交付を受けた人。

②知的の一部：療育手帳の交付を受けた人。あるいは、その取得の対象に準ずる障害がある人。

③精神の一部：精神保健福祉手帳の交付を受けた人。あるいは、その取得の対象に準ずる障害がある人。

■開催競技＝

競技種目	身体の一部	知的の一部	精神の一部
陸上競技	○	○	×
水泳	○	○	×
卓球	○	○	×
アーチェリー	○	×	×
フライングディスク	○	○	×
ボウリング	×	○	×
バレーボール	×	×	○
ミニバレーボール	×	×	○
グラウンド・ゴルフ	×	×	○

Advanced age 高齢者(介護保険)

地域包括支援センターからのお知らせ

●町地域包括支援センター ☎52-8634

●認知症講演会を行います

現在、高齢者の約4人に1人が認知症またはその予備軍と

言われており、今後その数はますます増えていきます。しかし、認知症に対する正しい理解はまだまだ十分とは言えず、症状や人間関係を悪くする原因にもつながります。

認知症について本人はもちろん、周りの人が正しく理解することで、不安や負担、虐待などの問題を減らすことができます。認知症の人やその介護者を周りで支え、安心して暮らせるように「認知症」について一緒に学んでみませんか？ ご近所、お誘いあわせの上ご参加ください。

月 日	曜 日	時 間	場 所	講 師
1月20日	水	午後2時	第4地区分館	大悟病院職員
2月17日	水		第9地区分館	
3月8日	火		第8地区分館	

※参加費は無料です

●介護予防サポーター養成講座を行います

9月から介護予防サポーター養成講座を元気の杜で開催しています。自ら介護予防を実践した地域でボランティアとして参加・活動したい人を対象に現在15人が基本的な知識や技術について学んでいます。

本年度も残り3回となりました。途中参加も可能ですので受講希望者は下記へご連絡ください。

月 日	曜 日	時 間	講座内容
12月17日	木	午前9時30分	高齢者に多い疾患と緊急時対応
平成28年1月14日	木		やる気を引き出す方法
平成28年1月28日	木		今後の活動について

■連絡先＝三股町地域包括支援センター ☎52-8634

●足もと元気教室

■日程＝12月16日～平成28年1月20日までの分

地区名	時 間	場 所	期 日
第1地区	午前9時30分～11時	第1地区分館	12月18日(金) 1月8日(金)
第2地区	午後1時30分～3時	第2地区交流プラザ	1月7日(木)
第3地区	午後1時30分～3時	第3地区分館	1月14日(木)
第4地区	午前9時30分～11時	第4地区分館	1月20日(水)
第5地区	午後1時30分～3時	轟木集落館	12月17日(木)
蓼池	午前9時30分～11時	蓼池児童館	12月17日(木) 1月7日(木)
餅原	午前9時30分～11時	餅原営農研修館	12月21日(月)
三原	午後1時30分～3時	三原地区コミュニティセンター	1月20日(水)
中原	午前9時30分～11時	中原地区コミュニティセンター	12月16日(水) 1月13日(水)
今市	午前9時30分～11時	今市児童館	1月4日(月)
花見原	午前9時30分～11時	花見原地区コミュニティセンター	1月6日(水)
下新	午前9時30分～11時	第7地区分館	1月15日(金)
第8地区	午前9時30分～11時	第8地区分館	12月25日(金)
第9地区	午後1時30分～3時	第9地区分館	12月16日(水) 1月13日(水)

■準備するもの＝体操のできる服装、シューズ、水分補給用の飲み物

※12月1日～15日の日程は『広報みまた』先月号をご確認ください。



◎ 今月の表紙

『まなざし』



秋晴れのふるさとまつり

先月開催されたふるさとまつり（10～11分に関連記事）の1区画で行われたランニングバイク体験。ペダルが無く、足で地面を蹴って進む自転車で、幼児の間で人気が高まりつつあります。この日も秋晴れの中、多くの子どもたちが集まり、力走しました。夢中になって真剣に走るそのまなざしには、どこか頼もしささえ感じました。

みまた 暮らしのカレンダー

..... 12月11日（金）～平成28年1月7日（木）

※休日急患診療機関の診療時間は午前9時～午後6時です。やむを得ず変更する場合がありますので、☎23-5555でご確認ください（夜間は都城夜間急病センター☎36-8890まで）。なお歯科については☎25-4100にお問い合わせください。

◎12月の予定

11	金	・可燃物	
12	土		
13	日	◎富田医院（内・小） ☎23-4586（栄 町） ◎藤元上町病院（内） ☎23-4000（上 町） ◎みしま内科クリニック（内・備） ☎51-8100（三股町） ◎三州病院（外・胃・内） ☎22-0230（花線町） ◎酒井皮膚科医院（皮） ☎25-5322（北原町） ◎武田産婦人科医院（産・婦） ☎22-0336（蔵原町）	
14	月	・可燃物	・図書館休館日
15	火	・可燃物	
16	水		・図書館休館日
17	木	・缶・瓶	
18	金	・可燃物	
19	土		
20	日	◎城南病院（小・内） ☎23-2844（大王町） ◎伊達クリニック（内・備） ☎36-7088（牟田町） ◎豊栄クリニック（内） ☎39-2525（下長坂町） ◎野口脳神経外科（脳・外） ☎47-1800（太郎坊町） ◎ながはま整形外科（整） ☎46-7188（都北町） ◎野田医院（産・婦） ☎24-8553（蔵原町）	
21	月	・可燃物	・図書館休館日
22	火	・可燃物	
23	水	◎有馬医院（内・小） ☎23-2610（上長坂町） ◎松山医院（内・呼吸・リュ） ☎24-1046（上川東） ◎戸嶋病院（内） ☎22-1437（都元町） ◎柳田病院（脳・外） ☎22-4862（東 町） ◎横山病院（泌・消） ☎22-2806（都島町） ◎やの耳鼻咽喉科（耳鼻） ☎27-5222（吉尾町） ・図書館休館日	
24	木	・不燃物	
25	金	・可燃物	
26	土		
27	日	◎たけしたこども医院（小） ☎51-0005（三股町） ◎坂元医院（内・胃） ☎22-0360（牟田町） ◎坂田医院（内・消・胃） ☎51-2003（三股町） ◎もりやま脳神経外科（脳・外） ☎21-6888（久保原町） ◎いき形成科ひふ科クリニック（形成） ☎45-0020（年見町） ◎かみながえクリニック（耳鼻） ☎25-0224（上長坂町）	
28	月	・可燃物	・図書館休館日
29	火	◎山内小児科医院（小） ☎22-0048（上 町） ◎鶴木循環器内科医院（循・内） ☎26-0008（花線町） ◎あきづき医院（内・心内） ☎36-0534（上水流町） ◎マドコロ外科医院（外・胃） ☎22-0138（小松原町）	

29	火	◎よしかわクリニック（麻・整・内） ☎23-9384（前田町） ◎ふたみ眼科（眼） ☎38-5532（都北町） ・可燃物 ・図書館休館日
30	水	◎原田医院（内・小・外） ☎26-3330（都元町） ◎村上循環器内科クリニック（循・内） ☎25-2700（宮丸町） ◎長倉医院（内） ☎52-2109（三股町） ◎山路医院（外・内） ☎64-3133（山田町） ◎寺本整形外科医院（整） ☎22-1171（北原町） ◎いゆい耳鼻咽喉科クリニック（耳鼻） ☎36-5555（千 町） ・図書館休館日
31	木	◎政所医院（小・内） ☎58-2171（高城町） ◎瀬ノ口医院（内・消） ☎25-5155（姫城町） ◎佐々木医院（内） ☎62-1103（高崎町） ◎はまだクリニック（外・胃・肛） ☎45-2266（祝吉町） ◎きたむら皮膚科クリニック（皮・ア） ☎38-7300（吉尾町） ◎くぼた眼科（眼） ☎26-3100（南鷹尾町） ・図書館休館日

◎平成28年 1月の予定

1	金	◎児玉小児科^(小) ☎25-5570^(花線町) ◎野辺医院^(内・胃) ☎22-0153^(上 町) ◎田中隆内科^(内) ☎52-0301^(三股町) ◎都北鯉島クリニック^(胃・内・外) ☎38-6060^(都北町) ◎石井皮膚科医院^(皮) ☎23-4588^(蔵原町) ◎いそいち産婦人科医院^(産・婦) ☎22-4585^(平塚町) ・図書館休館日	
2	土	◎畠中小児科医院^(小) ☎52-6000^(三股町) ◎宮永病院^(内・胃・外) ☎22-2015^(松元町) ◎いづみ内科医院^(内) ☎22-7111^(鷹 尾) ◎もりやま脳神経外科^(脳・外) ☎21-6888^(久保原町) ◎倉内整形外科病院^(整) ☎22-1252^(上 町) ◎すみ産婦人科医院^(産・婦) ☎23-1152^(東 町) ・図書館休館日	
3	日	◎早水公園クリニック^(内・小・外・消・ア) ☎36-6117^(早水町) ◎森山内科・脳神経外科^(内) ☎21-5000^(南鷹尾町) ◎黒松病院^(内) ☎38-1120^(金田町) ◎メディカルシティ東部病院^(外・整) ☎22-2240^(立野町) ◎どいクリニック^(外・胃・内) ☎22-1825^(上東町) ◎宮田眼科病院^(眼) ☎22-1441^(蔵原町) ・図書館休館日	
4	月	・可燃物	・図書館休館日
5	火	・可燃物	
6	水		
7	木		

今後の償いについても真剣に取り組んでいかなくてはならないと思っています。ただ単に金銭的賠償やお墓参りといった償いではなく、被害者遺族と正面から向き合っていかなければならないと思っています。その償いが何なのか、いまだに分かりませんが、一生をかけてしていかなければならないことだけは分かっています。そして、大切な「人の命を奪った」ということを背負って生きていかなければなりません。もう一つ分かったことがあります。それは「順法精神」です。法律を守ることがいかに大事なのか身に染みしました。一つでも違反をすれば、どんな小さなことでも周りの人たちへ迷惑を掛けてしまう。それは今後、社会へ出ても同じです。「ルール」を守ってい

※ 贖いとは、罪を償うという意味。

ここに掲載してある手記は、交通事故を引き起こして刑務所で罪の償いをしていく人たちの悔いの記録です。一瞬の過ちによって、家族、恋人、友人など親しき人々から隔絶され、自ら犯した罪を反省している様子が文脈の端端から伝わってきます。

このような悲惨な事故を引き起こさないよう、心の戒めにしていきたいと思

います。

〔（一財）東京交通安全協会提供〕

交通事故（人身）発生ワースト順位 ◎県内第15位／平成27年9月30日現在（全26市町村中）※ワースト…悪い方からの順位

税

● 税務財政課からのお知らせ

12月25日（金）は納付期限です

納期限内に納付しましょう。

● 国民健康保険税（第6期）

口座振替は12月25日（金）が振替日です。また、再振替は1月8日（金）に行います。前日までに預貯金口座の残高確認をお願いします。

解約などで口座振替ができなかった場合は、「口座振替不能用の納付書」を送付します。納付書に記載されている納付場所で納めてください。

■ 問い合わせ：納税管理係 ☎ 52-9635

「納税相談」をご利用ください

税金は納期限内に納めることが原則ですが、思わぬ事故、

（前号より）
私は、この受刑生活の中でさまざまな教育を受け、いろいろ考えるようになりました。被害者遺族の方々が、どのような思いでいるのかを多少なりとも理解できるようにしました。殺人事件同様、尊い命が奪われているのに「事故」で処理されてしまうのがつらく、許せないことも分かりました。「車」という凶器によって殺されたのですから、事故ではなく殺人事件なのだとご遺族の方々と同様に私も思うようになりました。

ば人の命を奪うことはなかったはずで

「ルール」を守れなかった私が悪いので

す。二度と同じ過ちを犯さないためにも

「順法精神」を強く持ち続けたいと思

います。

「償い」、今の私にとって一番重い言葉で

す。

どんな形で償えばよいのか、日々の生

活の中で探し求めています。今の私に

できる償いは、一日の中で必ず1回は手

を合わせ、被害者そしてご遺族のことを

思うことです。他の方々からすれば、そ

う償いかと思われるかもしれませんが、

うすることが良いように今の私には思

えられます。自分を戒めるためにも。

私はこの事故によって「人を殺してし

まった」という罪悪感とともに生きて

いかなければならないと考えています。

（完）

一生残る罪悪感②

S・M 38歳 運転手

交通事故はもうたくさん……（全2回）

贖いの日々

あがな



出合いを紡ぐ竹細工

上達を実感する楽しさ

「70歳で仕事を引退したら、趣味と呼べるものがなかったんですよ」と、はにかみながら話す桑畑喜臣さん（寺柱在住）が竹細工を始めたきっかけは、町が主催する公民館教室。「人のつながりができるし、孫に竹とんぼでも作ってあげよう」と軽い気持ちで申し込んだが、予想に反してその内容は高度なものだった。しかし、教室の仲間と会話をしな

がら竹を編む時間が楽しく、次第にのめり込んでいった。教室を卒業してからは、創作に適した竹を求めてえびの市まで出掛け、高い技術を学ぶために仲間と他県の展覧会などを巡る。そうして、今年のねりんピック山口大会に県代表として出場するまでに上達。「作るたびに新しい目標や技術、そして人に出会える。それが何より楽しい」。竹細工を始めてからは、病氣もしたことがないと、桑畑さんは満面の笑みで話してくれた。

クロージアップ

まちを支える人たち (80)

桑畑喜臣さん (75)

三股文芸

202

「短歌」◆三股短歌会

やがて塵とならむ運命のあの着物あの帯の絵柄にただ懐かしく

桑畑 千代子

今は着る機会もなく、たんに眠っている着物や帯の絵柄を思い出しては、身に付けた日の喜びや楽しかったことを懐かしんでいるこの頃です。

風呂場から見える田んぼに老夫婦四十年前の父母思い出すなり

桑畑 トミ子

老人ホームのお風呂場から見える田んぼに、稲刈りをしている老夫婦がいて見とれていました。昔の父母が重なって見えました。

わが家の一番星



いつも笑顔いっぱいのおっくん♡
これからもたくましくスルスル大きく
なってね。

えのきだ あき
榎田 煌くん (1歳)

◎平成26年10月14日生まれ
◎榎田智仁・由貴子さんの長男



食べるの大好ききみなちゃん。いつかい食
べこ大きくなってね。

たはら ゆきな
田原 侑奈ちゃん (0歳)

◎平成26年12月26日生まれ
◎田原智幸・奈津美さんの長女

わが家の一番星

◎わが家の一番星

町内在住で3歳以下のお子さんについて、掲載申込書に写真を添えてお申し込みください。

◎ご長寿万歳

町内在住で80歳以上の元気な高齢者について、掲載申込書に写真を添えてお申し込みください。

※「わが家の一番星」「ご長寿万歳」の掲載申込書は町役場にあります。また町公式サイトからダウンロードすることもできます。

(町公式サイトアドレス… <http://www.town.mimata.lg.jp/>)

■問い合わせ 企画政策課 地域政策係 ☎52-1114 (直通)

■茶じよけ

気がつけば師走。毎日が目まぐるしく過ぎていき、今年も残すところあとわずかとなりました。担当になつてから幾つのお出合いがあったのか数え切れませんが、それもまだほんの一部ですが、取材や情報提供など、関わってくださる皆さんがいるからこそ、こうして完成を迎えることができているのだと実感しています。▽本号では、子どもたちを支える地域の人たち、町表彰の受賞者やイベントを盛り上げようと頑張る人たちなどを取材し、すごい人たちがこんなにも多くいるのだとあらためて感じました。同時に、「私は地域のために何ができているのだろう」と考えます。目立った取りえが無い私ですが、難しいことはできなくても、できるだけのことを毎日少しずつ。そうして皆さんと共に、地域がつながるきっかけの1つになっていたらと思います。残り少ない2015年ですが、笑顔で皆さんに会いに行きます。それでは、またがんそ！へりん ※またがんそ！諸県弁で「またね」という意味。

◎町の生い立ち

いろいろと発掘される土器などから、新石器時代より三股町各所に人が住んでいたことがわかります。また、その名の起源は「古くから川三条、股になりて流れたり」と古書にあって、その名「三股」をとどめているといわれています。江戸時代は鹿兒島藩に属し、明治初年、五戸長を一元として、戸長役場と改称しました。当時の地頭・三島通庸(みしまちつね)は荒涼たる原野に土木を興し、産業を奨励し、教育の振興を図って村づくりを成し、ここ三股の基礎が築かれたのです。

明治22年、町村制実施により三股村となり、昭和23年5月3日に町制を施行して名実共に三股町として発足しました。以来自治の発展に努め、文化農村建設へとまい進し、今や数多くの企業誘致により町民の所得向上を図りながら町民参加型の「自立と協働で創る 元気なまち」を目指し、躍進しています。

- ◎町 章／町の木「イチヨウ」を図案化したもので、外形は丸く円満で輪、すなわち和やかさを表し無限を意味しています。
- ◎町の花／サツキ
- ◎町の鳥／ホオジロ
- ◎町の木／イチヨウ



三股町の人口

平成27年11月1日現在

- ・男／11,858人・女／13,707人・計／25,565人・前月比+25人
- ・世帯数／10,148戸(+16戸)・出生／18人・死亡／22人
- ・転入／81人・転出／52人

No.544
2015.12

発行・編集／三股町 企画政策課
〒889-1995 宮崎県北諸県郡三股町五本松1番地1
TEL.0986-52-1111(代表) FAX.0986-52-4944
町公式URL… <http://www.town.mimata.miyazaki.jp/>
町FacebookURL… <https://www.facebook.com/mimatatown>



みまたん駅前よかもん市

■期日12月27日(日)

■時間11午前8時～10時30分ごろまで

「みまたんごま」のみを石臼でひいて作る、しも農園の『練りごま』。皮ごとひいてあるので豊富な栄養を効率よく吸収でき、健康維持に役立ちます。白・黒・金の3種類があり、ハチミツと混ぜてパンに塗るなど、さまざまな食べ方で味の違いをお楽しみください。



轟木農産加工グループの『甘酒』を紹介し、米と麹だけで作られた伝統的な飲み物の一つで、飲む点滴と例えられるほど栄養豊富です。原料から出る自然な甘みは身も心も温めてくれます。これから寒くなる季節にぴったりの商品です。



ゴマだけで作った極上の一品

おばあちゃん秘伝の味

三股町物産館よかもんや情報発信コーナー
んじゃ様だより
第38回



<https://facebook.com/mimata.yokamonya>

※表示価格は全て税込みです。